

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	15010-3
課題名	中皮腫レジストリの構築
研究期間	2015年 4月 24日 ～ 2018年 3月 31日
研究の対象	2015年4月～2018年3月に当院で中皮腫と診断された方 2015年4月～2018年3月受診時に、 アスベスト吸入環境にあったと考えられ20年を経過している方 画像所見等で中皮腫発症のリスクが高いと主治医に告げられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢・性別・居住歴・職業歴、アスベストの曝露歴や画像所見、カルテ番号等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
外部への試料・情報の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみで利用 （データセンターを介して当施設および多施設からも収集します。当施設内の個人を特定する対応表は当施設の研究責任者が保管・管理します） （収集方法：インターネットを介して。臨床研究情報センター提供の eClinical Base®） <input type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先： ）（提供方法： ） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	岡山大学病院呼吸器外科 枝園和彦 慶應義塾大学医学部 呼吸器内科 川田一郎
研究の意義、目的	中皮腫は、胸水が大量に溜まり外科手術をした場合や胸の内視鏡手術をした場合に診断されることが多い疾患です。アスベストに晒されたことのある人では石灰化を伴う胸膜肥厚が多く認められることから、悪性の中皮腫と悪性ではない胸膜病変との区別が難しくなります。悪性中皮腫は希少な疾患で、アスベストの吸引からの潜伏期間は最長 50 年以上とも言われており、アスベストの使用が禁止された現在でも、患者さんの数は増加傾向にあります。 精度のよい中皮腫診断方法を現在開発中であり、実用化後スムーズに適用するためには、患者さんをデータベース登録しておくことで可能になると考えています。
研究の方法	すでに中皮腫と診断された患者さんおよび、アスベスト吸入環境にあったと考えられ20年を経過している方、および画像所見等で中皮腫発症のリスクが高いと考えられる方を、インターネットを介してデータベース登録します。
その他	本研究はデータベース登録のみです。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

(研究責任者)

旭川医科大学病院呼吸器センター 教授・大崎 能伸

住所 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

電話番号：0166-69-3290